

“子育て健康プラザ mano マーノ”

コ ン セ プ ト

子育て支援の拠点

～ “マイナス10カ月から
つなぐ まなぶ かかわる 子育て” の推進 ～

- ★マイナス10カ月からすべての親・子ども・家庭を対象とした切れ目のない支援の仕組み(子育て世代包括支援センター)
 - 母子保健事業からつなげる子育て支援の推進
 - 子育て支援関係機関連携強化
- ★子育て支援のワンストップ・サービスの提供
 - 子育て・健康に係る部署の集約
 - 専門職を配置した相談窓口
- ★子育て支援の企画・調整・情報発信
 - 子育て施策の企画立案、連携調整 など
 - 子育てに役立つ情報の収集・発信
- ★親子の交流・学習の場、楽しく遊べる場の提供
 - 子育てに関する学びや仲間づくり、情報交換
 - 天候を気にせず安全・安心な場所
- ★子育てを通じた世代間交流の促進、取り組み支援

≪施設：子育て・健康行政事務室、保健センター、
児童センター、親子サロン≫

[専門職の配置]

臨床心理士、教員、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、保健師、助産師、管理栄養士、歯科衛生士、家庭相談員、母子父子自立支援員 ほか



[民間事業者の参画]
民間ノウハウを活かした
施設運営

子育て支援機能を
中核とした、
健康づくり・にぎわい
創出の機能を備えた
市民の出会いの場

市民参画

- ◆地域で子ども・子育てを支える市民活動の推進
 - 子育て、健康などのボランティア育成・活動支援
 - 市民団体等との連携によるサービスの充実

≪施設：市民支援室≫

交流・にぎわいの拠点

～ 多様な世代の交流による絆づくり～

- ★可児市の魅力発信
 - 観光案内、特産品やブランド品などの展示販売
- ★商業施設の導入
 - 親子、駅利用者も気軽に立ち寄れる飲食店
- ★多様な世代が集まり、交流・活動できる広場づくり
 - 駅前広場と併せて多様な世代が集まり交流・活動ができる広場
 - 可児川の水辺空間を活用した憩いの広場
- ★市の「顔」にふさわしいランドマークの創出

≪施設：観光案内所、ショップ、カフェレストラン、三つのひろば≫

健康づくりの拠点

～ 健康長寿を目指す “1・2・3・4で健康づくり” の推進 ～

- ★生活習慣病予防・感染症予防のための活動
 - 各種健(検)診、健康相談、健康教育の充実
 - 地域で取り組む健康づくりの推進
- ★健康づくり・リフレッシュができる場の提供
 - ライフステージに合わせた健康づくり事業の展開
 - 幅広い世代が気持ちよく汗を流してリフレッシュできる場の提供
 - 可児川のKルート（ウォーキングルート）の活用
 - 食育推進
- ★健康に役立つ情報の収集・発信

≪施設：保健センター、健康スタジオ、クッキングスタジオ≫

■可児市子育て健康プラザは、市民の皆さんと「手」をつなぐ、市民の皆さん同士が「手」と「手」をつなぐ、多様な人々が「手」と「手」と「手」をつなぐ、そんなひろばです。
マーノ(イタリア語で手の意味)と呼んでください。